

※ A E D 使用時の注意点

- 汗や水で**身体が濡れている** ⇒ タオルなどで**拭き取ってから**パッドを貼る
- 胸毛が濃い** ⇒ 体毛を**除去してから**パッドを貼る
- パッドを貼る位置に**湿布薬等**が貼られている ⇒ **はがしてから**パッドを貼る
- ペースメーカーなどの機器が埋め込まれている ⇒ 埋め込み位置から**8 cm**離れたところに貼る
- ネックレスなどがある ⇒ 胸部周辺の金属類を**取り除いてから**ショックを実行する

① 本体のレバーを引く

⇒自動的に電源ON & 音声ガイダンス開始



電源がONの状態
長押しすると**電源OFF**



点滅：使用可能
消灯：使用不可

② パッドを患者の胸に貼る

⇒解析ランプが自動で点滅
電気ショックが必要な解析が開始



「i」インフォメーション
ボタンを押すと心肺蘇生の
ガイダンスが流れます。

③ ショックボタンを押すよう指示が出たら 体から離れてオレンジ色のボタンを押す

⇒電気ショックが実行されます

AED使用した心肺蘇生法 (CPR)

※不安な方は119番通報時に通信指令員から胸骨圧迫の要領を確認できます。

1) 反応の確認をする

肩を軽く叩きながら「**わかりますか?**」などと徐々に大きな声で**2~3回**呼びかけます。

※事前に周囲の安全を確認しましょう



2) 大声で協力を求める

「**誰か来てください!**」
「**人が倒れています!**」

「あなたは**119番**通報してください。」
「あなたは**AED**を持って来てください。」



3) 呼吸の確認をする

胸または腹部が上下に動いているかを**10秒以内**で確認します。

※**胸・腹部が動かず**口や鼻だけが動いている状態(死戦期呼吸)は「**呼吸なし**」と判断します。



4) 胸骨圧迫 (および人工呼吸) を繰り返す

圧迫の速さ 1分間に
100回~120回

圧迫の深さ
5cm~6cm

呼気吹き込みの長さ
1秒

30回

2回



※感染防止用具などがなく不安な方は呼気吹き込みは不要です。

5) A E Dの電源を入れる



電源を入れた後は
音声メッセージで案内されます。

6)電極パッドを患者の胸に貼る

カードリッジから電極パッドを取り出し、表面に描かれている位置に貼ります。



『絵の通りにパッドを貼ります。』



パッドが貼られると
自動的に解析が始まります。

7)解析



『身体に触れないでください。解析中です。』

心電図が自動的に解析され、除細動が必要であれば
点滅しているオレンジのボタンを押すように指示がでます。



8)除細動を行う ショックボタンを押します。



『ショックが必要です。身体から離れてください。
点滅しているオレンジのボタンを押してください。』

自動的にエネルギーが充電され、
オレンジのボタンが点滅します。

※ショック実施前に必ず確認してください

- 声を出して、周囲の人が患者から離れるよう指示します
- 手振りでも患者から離れるように指示します
- 患者の身体に誰も触れていないのを確認します



9)パッドを貼ったまま直ちに胸骨圧迫を再開する

電気ショックを行った後、何らかの応答や目的のある仕草
(嫌がるなどの体動)、あるいは救急隊が到着し引継ぐ
まで胸骨圧迫を続けます。

2分間の心肺蘇生の後、A E Dが再度心拍を解析し、
除細動が必要かどうか指示します。

※患者の状態が変化すると、A E Dが反応します。

10)救急隊に情報を伝える

救急隊が到着したら、以下の項目を伝えましょう

- ・患者が倒れた時の状況
- ・容態の変化
- ・応急手当の内容
- ・電気ショックの回数

「i」インフォメーションボタンを押すと、心肺蘇生法を補助する
音声ガイダンス（CPRコーチング機能）を聞くことができます。



※YouTubeのALSOKチャンネルで心肺蘇生法の説明動画を公開しております。ぜひご利用ください。
URL : <https://www.youtube.com/watch?v=jqnxtvliTCg>



ALSOK

〒107-8511
東京都港区元赤坂1-6-6
<http://www.alsok.co.jp/>



●販売店/お問い合わせ

